

# 研究名：小児周産期医療における医療の質の指標の多施設比較研究

## 1. 研究の目的

国立成育医療研究センター（代表責任者：五十嵐隆理事長）では、内閣府の事業である「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期 先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」の一環として「小児周産期医療における医療の質の指標の多施設比較研究」を行っています。この研究では、参加している病院の小児科を受診・入院された患者さんのレセプトデータを収集し、セキュリティの高い新しい技術である秘密分散・秘密計算技術を用いてデータ分析を行います。ここで利用するレセプトデータとは、患者さんの医療費を計算するために、病名や診療内容のデータや、その組合せにより分類したDPCコード（病気の識別番号）などが含まれます。

この研究では、全国の小児・周産期の診療科がある病院でどのような治療が行われているかを、疾病ごとに多施設間で比較し、それぞれの病院の特徴を評価し、医療の質を改善させることを目的としています。

## 2. 研究の方法

- ① 研究対象：本研究に参加されている医療機関の小児科を受診・入院された方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2028年3月31日迄
- ③ 研究方法：本研究に参加している医療機関の小児科をこれまでに受診された方のレセプトデータを収集します。レセプトデータには個人を特定する情報（氏名、住所）は含まれませんが、患者さんの電子カルテIDを含みますので、電子カルテIDは削除して研究用IDへの置き換えを行い、だれの記録か分からないようにした上で、医療機関からNTTコミュニケーションズ株式会社が保有するデータセンターに、パスワードをかけて提供します。NTTコミュニケーションズ株式会社は成育医療研究センターとともに、レセプトデータの分析を行います。また、参加医療機関では、医療の質等に係る指標を分析・評価します。電子カルテIDがどの患者さんのものかを結び付ける対応表は各医療機関で保管・管理します。

## 3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテIDは削除し、だれの記録か分からないようにしたレセプトデータ

※ 患者さんの氏名、住所など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

## 4. 成果の公表

本研究の成果は、「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期 先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」に関連する会議、報告会、学術集会、学術論文で発表される可能性があります。その場合でも、レセプトデータをご提供いただいた患者さんの氏名や住所などの個人情報が公表されることはありません。

## 5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター、NTT コミュニケーションズ株式会社  
神奈川県立こども医療センター、国立病院機構三重病院、東京都立多摩北部医療センター

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象から除外しますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

（参加医療機関名）

（担当者所属部署名・氏名）

（住所）

（連絡先電話番号）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 社会医学研究部 室長 大久保祐輔

○戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」3) 秘密計算技術の社会実装事例の構築研究代表者：

NTT コミュニケーションズ 櫻井陽一